

集会アピール

私たちは本日、オリンパスホール八王子において1,000名を超える組合員結集のもと「所定昇給額をベアの算出基礎とすることに反対し闘った成果を確認し、事実を歪曲し、組合脱退強要＝不当労働行為を許さず18春闘勝利をかちとる 2.28八王子地本総決起集会」を開催した。そして本部と共に職場からのたたかいで格差ベアの根絶と18春闘要求満額獲得！不当労働行為の撲滅に向けて全組合員でたたかい抜く意志統一をした。

私たちの要求は14春闘から4年間続いた「格差ベア」を巡る紛争状態に終止符を打ち、組合員の基本給一律6,000円引き上げ、エルダー組合員・グリーンスタッフ組合員の基本給4,000円引き上げ、きかく部門で働く組合員の課員手当の新設である。そもそもベースアップとは「物価上昇分を考慮した生活維持向上分」であり、基本給の水準を一律で引き上げることである。格差ベアにこだわってきた会社の狙いは、先達がかち取ってきた終身雇用や年功型の賃金体系を破壊する「職能給的な総合決定給」すなわち完全能力給への変質であった。本部は闘争1号交渉の席上「ベアの算出基礎にしてきた所定昇給額にこだわらない」「ベアの要素である物価上昇分は誰にも等しくある」を一致させ、労使の紛争状態を解決してきた。全職場からの格差ベア根絶のたたかいに支えられた本部の精力的な団体交渉でかちとったこの成果を全組合員で確認しよう。

一部マスコミは「対立路線回帰」などと報道し、軌を一に会社幹部は各職場を訪問して、さも私たちがストライキ戦術行使を目的化しているかのように映し出し、『未来永劫一律定額ベアの確約』なる無理難題の要求をしているようにウソ・デタラメ・ゴマカシを行なっている。そればかりでなく豊田運輸区では5名の管理者が脱退届提出前後に区長室に出入りし、乗務直前の分会長に脱退届を提出するなど、会社主導の脱退策動である事は火を見るよりも明らかである。以降、あらゆる職場から「脱退のノルマがある・脱退届を書かないと仕事上で課長決済をもらえない・自分の意に反して仕方なく脱退届を書いた・支社ビルは毎日脱退強要でウンザリ・業務が手につかない・精神的にも苦しい」と苦しさのあまり泣きながら脱退届を提出する者や「支社に呼ばれて出向いたら【社員のみなさんへ】を読まされ、脱退届記入を強制させられた」という事象が報告されている。泣きながら「申し訳ない」と脱退届を提出するのは自分の意に反しているからである。会社が行っている脱退強要は明らかな労働組合への支配介入の不当労働行為であり組織破壊攻撃である。私たちはあらゆる妨害や支配・介入に一切屈せず、労働三権を堂々と掲げ、反転・攻勢のたたかいを全職場から創り出していこう。

私たちは騙されない。会社は2月27日付勤労速報で労使共同宣言を一方的破棄を通告している。しかし、「組合色差別人事」や「組織破壊の手引書4本柱」、「JR北海道に出向した社員が行なおうとした現場力向上講演会」など、労使共同宣言の趣旨と精神を破壊する行為を繰り返してきたのは会社である。こうした歴史的事実を隠蔽し、労働組合に責任転嫁している様を見れば会社が最初から「労使共同宣言破棄ありき」で行動していたことは明白ではないだろうか。労使双方で確認したものを一方的に破棄するなど、社会通念上からしても認められるものではない。私たちはこれからも労使間の問題の処理にあたっては労働協約に則り、真摯に会社と向き合っていく。

私たちは「嘘・誤魔化し・恫喝・強要」による東労組への不当労働行為に屈することなく、整然と理性的に18春闘をたたかい、春闘のけん引役を果たして要求満額獲得を目指す！そしてあらゆる格差是正と格差社会の解消、グリーンスタッフ正社員化実現に向けて更にたたかいをつくり出そう！真実を積み重ね、安全で安心して働ける職場を創るために全組合員の総団結でたたかい抜こう！
以上アピールする。

2018年2月28日

所定昇給額をベアの算出基礎とすることに反対し闘った成果を確認し、

事実を歪曲し、組合脱退強要＝不当労働行為を許さず

18春闘勝利をかちとる 2.28八王子地本総決起集会